

平成 3 0 年度

苫小牧 CCS 実証試験センター  
地上設備の操業に伴う  
A 重油購入仕様書

平成 30 年 8 月 21 日版

日本 CCS 調査株式会社

## 1. 目的

本仕様書の目的は、日本CCS調査株式会社（以下、「弊社」という）が苫小牧で実施する二酸化炭素の分離・回収及び圧入の実証事業に伴い、「苫小牧CCS実証試験センター地上設備」の操業運転で使用するA重油（下期分）の購入仕様を規定することである。

## 2. 適用範囲

本仕様書は、弊社が実施する予定の、苫小牧CCS実証試験センター内の地上設備の操業に必要なA重油（下期分）購入に適用する。

## 3. A重油の購入スケジュール及び数量

本仕様書で想定している運転スケジュールを以下に示す。

苫小牧CCS実証試験センター内の地上設備の操業は、平成30年4月1日～平成31年3月31日の運転期間を予定している。

操業運転期間のうち下期分に購入するA重油の仕様と、下期の購入総量見通し（今後、操業の都合により変更の可能性もある）を添付資料-1に示す。

A重油の引き渡しは、苫小牧CCS実証センター内、重油タンクへのローリーからの充填とする。数量の確定方法及び納期については別途協議とする。

## 4. 注意事項

納入に当たっては整備された車両を使用し安全作業に努めること。

## 5. 機密保持

A重油納入者は本仕様書を本目的以外に使用してはならない。

以 上

添付資料-1 A重油仕様および購入量見通し

添付資料-2 弊社業務の概要および苫小牧CCS実証試験センターの所在

添付資料-3 苫小牧CCS実証試験センター全体図、A重油タンク周辺図、注油口、アースリール

(添付資料-1)

## 1. 仕様

### 1) 一般性状

ア. JIS1 種 1 号の規格を満たすこと。

イ. 商品規格として硫黄分が 0.4%以下のものを選定すること。

ウ. 10月～3月の各月において納入がある場合、納入される A 重油を構成する各ロットの硫黄分データを、納入時に提出すること。

### 2) 動粘度

ア. -20℃での動粘度が 40cSt (40mm<sup>2</sup>/s) 以下であること。

イ. 10月～3月の各月において納入がある場合、納入される A 重油を構成する各ロットの 50℃、0℃、-20℃での動粘度（実測データ）を納入時に提出すること。ただし、ロット数が月当たり複数ある場合は、それらの中からランダムに選んだ 2 ロット分について提出すればよい。

### 3) 元素分析値 (CHNO)

10月～3月の各月において納入がある場合、納入される A 重油を構成する各ロットのそれぞれについて、炭素 (C)、水素 (H)、酸素 (O)、窒素 (N) の元素分析値を提出すること。

### 4) 納入

基本的に、18 kL ローリーで納入すること。納入の詳細は別途打合せる。

## 2. A重油の購入総量見通し（今後、操業の都合により変更の可能性もある）

月	数量 (kL)
2018 年 10 月	749
2018 年 11 月	796
2018 年 12 月	936
2019 年 1 月	884
2019 年 2 月	655
2019 年 3 月	725
計	4,745

(四捨五入の都合により、上記表の合計数は合わない場合がある。)

(添付資料-2)

●社名：日本CCS調査(株)

<http://www.japanccs.com/>

●事業内容：二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の分離・回収、輸送、地中貯留技術の事業化調査及び研究開発諸業務、実証試験(詳しくはWebをご参照ください)

●苫小牧 CCS 実証試験センターの所在



以上

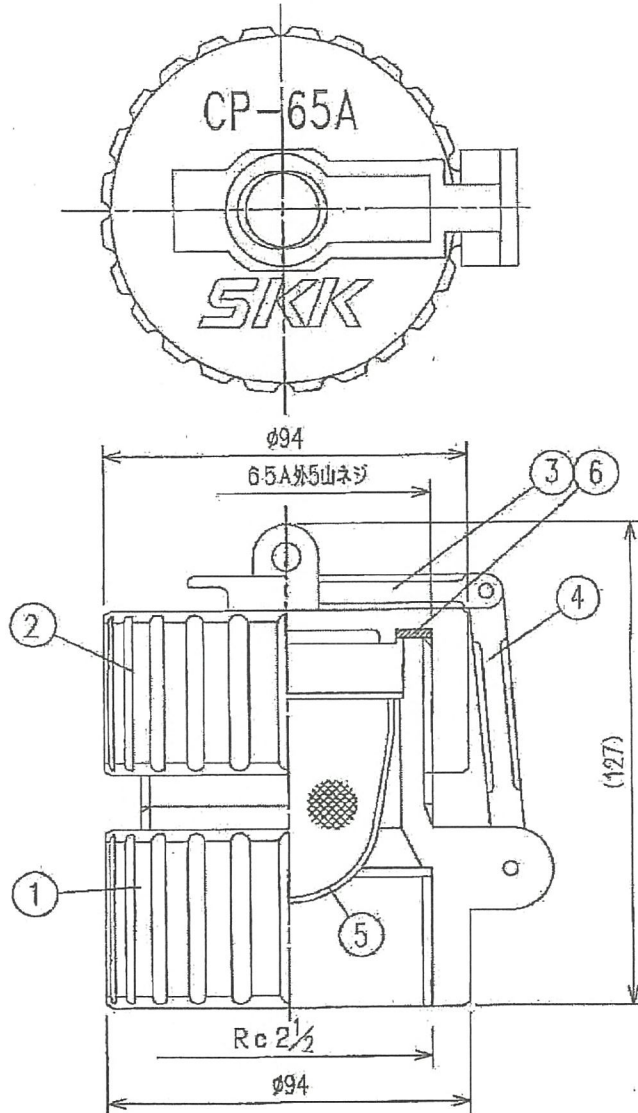






注油口

MS型N-65A注油口(外5山)



型式:CP-65A5

6	パッキン	NBR	1
5	ストレーナー	SUS 40 <sup>#</sup>	1
4	掛金A	ADC	1
3	掛金B	ADC	1
2	キャップ	ADG	1
1	本体	ADG	1
NO.	DESCRIPTION	MATERIAL	PIE.
名称	MS型N-65A注油口(外5山)		
図面番号	TB-1511C		
<b>SKK 昭和機器工業株式会社</b>			

注意

○本製品はガソリン・軽油・灯油・重油を対象としております。  
前記以外の他の液種へのご使用につきましては、最寄りの当社支店・営業所へお問い合わせください。  
なお、前記以外の他の液種へのご使用の場合、本製品は補償の対象外となりますのであらかじめご了承ください。

○本製品の故障の発生を考慮して、事故や損害などに対する冗長設計などの安全設計ならびに安全対策をお願いいたします。

○本製品の使用あるいは不具合、または本製品と当社もしくは他社の他製品とを接続した際の使用あるいは不具合に起因もしくは関連する直接的または間接的な損害、その他一切について責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。





静電気による爆発や火災が生ずるおそれのある場所では、アースリールをお使いください。

- 用途**
- タンクローリー車、ドラム缶などの引可燃液体、ガスなど可燃物取扱場所等に。
  - 引火性の物を含有する塗料、接着剤等を塗布する設備に。
  - 石油製品製造工場、化学プラント、ガスタンク周辺、燃料設備等に。
  - その他化学設備、その付属設備に。

- 資料**
- 可燃物物質が存在する設備では、静電放電が着火源になり燃焼、火災を引き起こす可能性があります。労働安全衛生規則や消防法の中では、静電気による燃焼又は火災が生ずるおそれのある場所においての静電気を除去するための措置の必要性が定められています。

- 労働安全衛生規則  
第27条「事業者は、次の設備を使用する場合において、静電気による燃焼又は火災が生ずるおそれのあるときは、  
接地、所電材の使用、導線の付与、点火源となるおそれのない除電装置の使用その他静電気を除去するための措置を講じなければならぬ」
- 消防関係法令等 危険物の規制に関する政令  
第11条の2「ガソリン、ベンゼンその他揮発性のある液体の危険物の属する貯蔵タンクの注入口付近には、  
静電気を有効に除去するための接地電線を設けること。」  
第17条の6「貯蔵設備には、給油ホースの先端に設置される静電気を有効に除去する装置を設けること。」

静電気の発生で問題が起る可能性のある場所

- 化学性物品を扱う工場
- 高分子化合物、フィルム、バルブ、粉体等の脆性性の物を扱う場所
- 繊維、合成ゴム、紙等を扱う場所
- 石油等の製品（ガソリン、シンナー等の危険物など）を扱う場所
- 印刷、製本等の加工運搬の処理等

- 可燃物物質が原因となった事故例
- 火薬・化学製品工場の爆発事故
  - 製糖工場の火災
  - 類似作業現場（石綿除去作業・解体作業等）での粉塵燃焼事故
  - 精製機を使用する作業現場での、機械の劣化・故障

安全に関するご注意 取扱の前に、取扱説明書をよくお読みください。正しくお取り扱いください。

株式会社ハヤリニテック  
〒105-8541 東京都港区新橋3-1-1 TEL (03) 3541-3211 (代)  
●札幌営業所 ●仙台営業所 ●東京営業所 ●大阪営業所 ●名古屋営業所 ●福岡営業所  
●札幌支店 ●仙台支店 ●東京支店 ●大阪支店 ●名古屋支店 ●福岡支店  
〒105-8541 東京都港区新橋3-1-1 TEL (03) 3541-3211 (代)  
株式会社 畑屋製作所  
〒105-8541 東京都港区新橋3-1-1 TEL (03) 3766-6911 (代)  
〒105-8541 東京都港区新橋3-1-1 TEL (03) 3766-6911 (代)

ERD TYPE EARTH REEL  
**ERD型アースリール** 接地導線用  
引出し・巻取りやすい自動巻タイプ。  
大型特殊車両等への取付も容易。

ケーブルの出し入れが多い作業現場でも、  
手間をとらせず巻取りができます。  
高所作業車などの特殊車両にも最適。

■ERD型アースリール仕様表

型名	巻取り長さ (m)	巻取り径 (mm)	重量 (kg)
ERD-A2 (ケーブル付)	20	φ20	11.4
ERD-A20 (ケーブル付)	20	φ20	8.0
ERD-A2L (ケーブル付)	20	φ20	13.0
ERD-A2LE (ケーブル付)	20	φ20	10.0

任意で巻取れる手巻式のERD-E型

■ERD-E型アースリール仕様表

型名	巻取り長さ (m)	巻取り径 (mm)	重量 (kg)
ERD-EA (ケーブル付)	30	φ20	8.5
ERD-EA0 (ケーブル付)	30	φ20	4.0

●ケーブル内には、接地線とOAの2つのケーブルが内蔵されています。●接地線はマンセル付。

- 特長**
- 本体を取付けるだけでアースが取れます。
  - 高容量のアース導線で、ターミナル端子から確実に接地が可能です。
  - 騒音コンパントで基地場所を取りません。

- 用途**
- ガソリン・その他液体危険物のタンクローリー車に。
  - 電線車（発電）、高所作業車・リフトゲン車などの特殊車両に。
  - 燃料貯蔵地など危険物取扱場所や整備場など接地を必要とする場所に。

**使用場所の例**

●燃料貯蔵地など危険物取扱場所や整備場など接地を必要とする場所に。  
●電線車（発電）などの特殊車両に。  
●タンクローリー車などの特殊車両に。

